

造形通信

2024. 5月
NO.68
ひいらぎこども園



キャンプがしたい！

ピンク組は、今キャンプに夢中！わくわくひろばで自然と発生し盛り上がったキャンプ遊び。キャンプファイヤーらしきものを作り、みんなでかんぱーい！なんてやって楽しみました。そんな遊びがお部屋で再燃です。



いつの間にかピンク色に染まった木々が、鮮やかな緑色に姿を変えています。時間がたつのは早いものです。新しい気分で少し緊張した面もちの子どもたちも、少し慣れてきたのではないのでしょうか。しかし、疲れが出てくるのもこの時期です。木々の緑の色に癒されながら、元気をもらい、大人も子どもも力を蓄えていきたいです。

今、やりたいこと

今、できること



はいっくばって濡れた葉っぱを手で触って確かめています。

濡れた葉っぱを集めています。



葉っぱがいっぱい入った袋に興味を示し、袋を開けようとすると、友達も近づいてきました。

前の日から雨が降ったり、風が吹いたりしておひさまひろばのくすのきの葉っぱが床に敷き詰められるほど落ちてしまいました。さて、それを見て何と違うのでしょうか？「これは大変！掃除が大変！」と思ってしまいそうですが、おひさまひろばではこんな子どもたちの姿が見られました。

子どもはいっぱいの葉っぱを見たら、何を思い、どんなことをするかな？それをするには、どんな準備が必要かな？葉っぱがいっぱいたまったこの時にしかできないことがあります。ほんの短い時間の活動ではありますが、子どもたちには、濡れた葉っぱの冷たさ、重さ、やわらかさなど体で感じたことがたくさんあったことでしょう。乳児期には五感で感じる体験をいっぱいしてほしいですね。



かんぱーい！

キャンプファイヤーの石を作るよ！



キャンプには何があるのかなとお部屋に帰ってみんなで話し合い。焚火、椅子、机、テント、フライパン・・・子どもたちから次々と声が上がるとともに、子どもたちの意欲も盛り上がってきました。



牛乳パックを持ってくると、中に新聞紙を丸めて入れると固くなるよと教えてくれる子。今までの経験が生かされています。みんなでドンドン詰めて、大きな長いベンチができました。

キャンプのそばには、畑があるよと子どもたちから意見が出ると、かわいい畑もできあがりました。かわいいかぶも植えてあります。



これは畑のカブ！



よいしょっと、押してみたり。

袋の上にちょこんとすわってみたり。

「キャンプがしたい！」というみんなの思いから、机も椅子も・・・と繋がっていきます。キャンプファイヤーの石や畑にまで広がってしまいました。畑にはカブも植えてあるとか。みんなの作りたいイメージはどんどん広がり、膨らんでいきます。みんなで作る楽しさもどんどん膨らんでいきます。みんなで作ることは楽しいです。この活動がこれからどんなふうにつながり、膨らんでいくのでしょうか。とても楽しみです。ちょっと、ピンク組をのぞいてみませんか？

子どもたちと一緒にいて、「今、この時、このチャンス」っていう時に出くわします。空に大きな虹が出た、観察していたさなぎがチョウになった、紫陽花の花が満開になった等自然現象に驚かされる時が数々あります。また、子どもが発するつぶやきの中に、はっと驚く発見や活動につながるキーワードが隠されている時もあります。そんな時、その瞬間を逃さず、環境を作り、子どもと活動を楽しみたいですね。